

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 28 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H01904

研究課題名(和文) イスラーム神秘主義の構造的理解-スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明

研究課題名(英文) Structural Comprehension of Islamic Mysticism: Investigation into Sufism-Tariqa-Saint Cults Complex

研究代表者

東長 靖 (Tonaga, Yasushi)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：70217462

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 26,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、「イスラーム神秘主義」の名の下に、理論としてのスーフィズム、教団としてのタリーカ、民間儀礼としての聖者信仰が、区別されずに論じられてきたことへの疑問に端を発する。この三者は各々個別の現象としてまずは分析し、しかし重なりあう部分をもつがゆえに、その総体を複合現象という形で捉えるべきである。スーフィズムについては、倫理・神秘主義とエリート・民衆の二つの軸からなるものとして、タリーカは「実践コミュニティ」として、聖者信仰は神と聖者、預言者と聖者、聖者と聖遺物、聖者と恩寵という「四つの対比」に基づいて、それぞれ捉えたうえで、複合現象を倫理・神秘主義・民間信仰の三要素で理解することを提唱した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、通常「イスラーム神秘主義」と訳されるスーフィズムおよびその周辺の事象をとらえ直そうとするものである。「神秘主義」という訳語から、これまでスーフィズムは、ごく一部の人々の知的営みと考えられがちで、イスラーム理解にとっては周縁的な事柄ととらえられてきた。本研究は、スーフィズムおよびこれと密接に結び付いているタリーカ、聖者信仰を、お互いに異なりながらも重なりあう複合現象としてとらえ、これがイスラーム方と並んで、イスラーム理解のために重要な存在であることを示したものである。

研究成果の概要(英文)：This research begins with questioning the present understanding of so-called "Islamic mysticism," whose three components, Sufism as its theory, Tariqa as its organization and saint veneration as its popular ritual, have been understood without any distinction among them. These three components should be treated as independent phenomena first, and then as a holistic entity of 複合現象 because they are overlapped with one another. We suggest that Sufism can be analyzed with the two axes of ethics/mysticism and elites/people, and tariqa as a practical community. Also saint veneration can be analyzed on the bases of 'four comparisons' of 'the God and saints', 'prophets and saints', 'saints and holy relics' and 'saints a blessings'. On the conclusion, we raised a hypothesis that the 複合現象 can be understood with the three elements of ethics, mysticism and popular veneration.

研究分野：イスラーム研究、中東地域研究

キーワード：スーフィズム タリーカ 聖者信仰 イスラーム 神秘主義

1. 研究開始当初の背景

本研究は、通常「イスラーム神秘主義」と訳されるスーフィズムおよびその周辺の事象をとらえ直そうとするものである。「神秘主義」という訳語から、これまでスーフィズムは、ごく一部の人々の知的営みと考えられがちで、イスラーム理解にとっては周縁的な事柄ととらえられてきた。

従来(1)スーフィズムは「イスラーム神秘主義」と訳され、(2)タリーカ(スーフィー教団)や(3)聖者信仰とアプリオリに結びつけて理解されてきた。研究代表者の東長と分担者の赤堀雅幸は、学際的研究グループを組織して、この問題に批判的に取り組み、(1)スーフィズムについては「三極構造論」、(1+2+3)スーフィズム・タリーカ・聖者信仰全体については(4)「複合現象」という概念を提唱し、これによって知的ブレークスルーを果たしてきている。

2. 研究の目的

本研究は、スーフィズムおよびこれと密接に結び付いているタリーカ、聖者信仰を、お互いに異なりながらも重なりあう複合現象としてとらえ、これがイスラーム方と並んで、イスラーム理解のために重要な存在であることを示すものである。

今回の研究プロジェクトでは、(1)スーフィズム概念の精緻化を図るとともに、まだ分析枠組の構築に至っていない(2)タリーカと(3)聖者信仰について分析枠組を作り上げ、それをもとにして、(4)「複合現象」概念の構築を目指すことを目的とする。

3. 研究の方法

本共同研究は、3班9名の研究者が担う。

(1) スーフィズム班：

- ・東長靖（東アラブ・思想研究・近現代担当）
- ・中西竜也（中国・歴史学・前近代担当。ちなみに中国には二千万人を超すイスラーム教徒が居住し、スーフィズムを実践している）
- ・連携研究者：澤井真（東アラブ・思想研究・前近代担当）

(2) タリーカ班：

- ・丸山大介（東アラブ・人類学・近現代担当）
- ・二宮文子（南アジア・歴史学・前近代担当）
- ・連携研究者：高橋圭（東アラブ・歴史学・近現代担当）

(3) 聖者信仰班：

- ・赤堀雅幸（東アラブ・人類学・近現代担当）
- ・私市正年（北アフリカ・歴史学・前近代担当）
- ・連携研究者：安田慎（東アラブ・人類学・近現代担当）

3班はそれぞれに研究会・現地調査を行うとともに、三班合同の合同研究会・共同現地調査を行った。その主だったものを以下に掲げる。

研究会・研究合宿(主だったもののみ。活動の全体については、東長靖「小特集 スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明に向けて - はじめに『イスラーム世界研究』15号(2022年) 119-137頁を参照)

2016年度第2回研究会

【日時】 2016年10月2日 14:00-17:00【場所】 上智大学四谷キャンパス 2号館 6階 2-615 (総合グローバル学部会議室)

【発表者・タイトル】

東長靖(京都大学)「スーフィズムの三極構造論 スーフィズムの立場から」

赤堀雅幸(上智大学)「スーフィズム・聖者崇敬複合とスーフィズム三極複合論の民衆信仰軸」

丸山大介(防衛大学校)「スーフィズムの三極構造」再考 スーダンの事例から - 」

2017 年度第 2 回研究会

【日時】2017 年 12 月 23 日（土曜日）13：00-17：00

【場所】京都大学吉田キャンパス総合研究 2 号館 4 階第一講義室 AA401

【発表者・タイトル】

二宮文子（青山学院大学）「社会と理論が交差するとき：デリー・サルタナト前期におけるスーフィー教団の競合と師弟関係の理論」

東長 靖「スーフィズムの三極構造再考」

澤井 真「マーク・セジウィックによるスーフィズムの分析枠組みとしての“五極構造”についての情報提供」

2018 年度第 6 回研究会

【日時】2019 年 3 月 17 日（日）13:00-18:00

【場所】上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603（総合グローバル学部会議室）

【発表者・タイトル】

丸山大介：趣旨説明 - タリーカ論構築に向けた覚え書き -

井上貴恵（お茶の水女子大学）「スーフィー教団における教義の継承 - 霊的継承者の役割について - 」

今松泰（京都大学）「オスマン朝下のタリーカ」

中西竜也（京都大学）「中国のタリーカ概念」

高橋圭（上智大学）「近現代における「教団」としてのタリーカ - 民衆性・社会性に注目しながら - 」

丸山大介「スーダンにおけるタリーカ概念」

2019 年度第 1 回研究会

【日時】2019 年 7 月 7 日（日） 13:30～17:30

【場所】上智大学四谷キャンパス 2 号館 6 階 2-603（総合グローバル学部会議室）

【発表者・タイトル】

私市正年（順天堂大学）「イスラーム聖者の概念の多様性と展開：マグリブ史の文脈から」

赤堀雅幸「イスラーム聖者崇敬研究の目配りと見通し」

小牧幸代「イスラームにおける聖遺物崇敬研究の理論化に向けて」

藤原久仁子（甲子園大学）「カトリックにおける聖人崇敬研究の射程」

2020 年度第 2 回研究会

【日時】2020 年 12 月 20 日

オンライン

【発表者・タイトル】

中西竜也「スーフィズムの三極構造の精緻化に関する幾らかの提案 中国ムスリムからの眺望」

東長靖「スーフィズムの 3 次元説」

2021 年度第 2 回研究会

【日時】2021 年 1 月 18 日（月）10:30～12:00

オンライン

主題：イスラームおよびキリスト教の聖者崇敬・聖遺物信仰研究の方向性についての自由討論

出席：赤堀雅幸、新井和広、私市正年、小牧幸代、寺田勇文（上智大学名誉教授）、藤原久仁子、二ツ山達朗（香川大学）、三代川寛子（東京外国語大学）、安田慎

2021 年度第 3 回研究会

<p>【日時】2022年1月21日(金)13時～16時</p> <p>【場所】上智大学2号館6階 2-615a</p> <p>東長靖「スーフィズム理解の模索と展望」</p> <p>丸山大介「タリーカ概念の問題点とタリーカ研究の見通し」</p> <p>赤堀雅幸「イスラーム聖者信仰研究とその周辺」</p>

現地共同調査

<p>ボスニア・ヘルツェゴビナ</p> <p>【日程】2016年8月19日～27日</p>
<p>ローマ・アッシジ</p> <p>【日程】2017年8月5日-15日</p>
<p>スペイン</p> <p>【日程】2018年7月16日～24日</p>
<p>フィリピン</p> <p>【日程】2019年度8月15日～22日</p>
<p>セネガル</p> <p>【日程】2019年8月30日～9月8日</p>

4. 研究成果

本研究は、「イスラーム神秘主義」の名の下に、理論としてのスーフィズム、教団としてのタリーカ、民間儀礼としての聖者信仰が、区別されずに論じられてきたことへの疑問に端を発する。本共同研究では、スーフィズム・タリーカ・聖者信仰という、これまで重なり合うものとして理解されてきた3つの対象をいったん解体し、それぞれがはらむ問題点を示したうえで、それを分析するためにはどのようにアプローチすればよいのかを考え、可能であればそれぞれを何らかの形で再概念化しようと努めてきた。その結果として、スーフィズムについては、倫理 神秘主義とエリート 民衆の二つの軸からなるものとして、タリーカは「実践コミュニティ」として、聖者信仰は神と聖者、預言者と聖者、聖者と聖遺物、聖者と恩寵という「四つの対比」に基づいて、それぞれ捉えたうえで、複合現象を倫理・神秘主義・民間信仰の三要素で理解することを提唱した。

この間、3. で示した一覧表に見るように、研究会を20回(うち5回はオンライン)、研究合宿を2回、共同現地調査を5回実施した。研究成果は、図書4点、学術誌における特集1点、国際会議における発表12回として発表するとともに、社会還元にも務めてきた。研究分担者の各々が発表した論文はあまりに数が多いので、一覧表には記載しなかった(これについては、日本学術振興会のホームページ <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-16H01904/> をご参照いただきたい)。なお、上記の 一覧表からは割愛したが、とくに国際会議の発表者に数多くの大学院生を含んでいる。これは、本科研が計画段階から次世代の育成を謳ってきたことの具体的な成果である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計28件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 25件）

1. 著者名 東長 靖	4. 巻 38
2. 論文標題 スーフィズム研究と井筒俊彦	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宗教哲学研究	6. 最初と最後の頁 15-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20679/sprj.38.0_15	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 東長 靖	4. 巻 15
2. 論文標題 <小特集 スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明に向けて>はじめに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 119-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/269329	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 東長 靖	4. 巻 15
2. 論文標題 スーフィズム理解の模索と展望 --三極構造論と四象限論--	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 163-179
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/269332	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 TONAGA Yasushi	4. 巻 14
2. 論文標題 Islam of Mercy and Compassion	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies	6. 最初と最後の頁 107-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/262495	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 赤堀雅幸	4. 巻 1
2. 論文標題 『大学生・社会人のためのイスラーム講座』小杉泰・黒田賢治・二ツ山達朗編、ナカニシヤ出版、2018年	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館アジア・日本研究学術年報	6. 最初と最後の頁 168-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34389/ritsumeikanasiajapan.0.1_168	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤堀雅幸	4. 巻 15
2. 論文標題 イスラーム聖者信仰研究とその周辺：四つの対比から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 138-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/269330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 二宮文子	4. 巻 45
2. 論文標題 文学作品から見る前近代のヒンドゥー・ムスリム関係	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 真下裕之監修、二宮文子、真下裕之、和田郁子訳注	4. 巻 48
2. 論文標題 アブル・ファズル著『アーイーニ・アクバリー』訳注(9)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神戸大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 107-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012690	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 真下裕之監修、二宮文子、真下裕之、和田郁子訳注	4. 巻 49
2. 論文標題 アブル・ファズル著『アーイーニ・アクバリー』訳注(10)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 神戸大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 57-98
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81013086	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi, Tatsuya	4. 巻 14
2. 論文標題 After Criticism of Ma Dexin against Veneration of Saints: Rethinking Chinese Elaboration of Islam	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies	6. 最初と最後の頁 138-161
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/262498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸山大介	4. 巻 15
2. 論文標題 タリーカ研究の課題と方向性 - 実践コミュニティから見るスーフイズムと集団	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 149-162
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/269331	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makoto Sawai	4. 巻 56
2. 論文標題 Appealing to Sufis: From Islamic Studies to Gender-Focused Sufism	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 107-120
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda, Shin	4. 巻 1
2. 論文標題 Islamic Tourism: Development of Islamic Finance as a Market Philosophy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Islamic Tourism	6. 最初と最後の頁 64-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda, Shin	4. 巻 15
2. 論文標題 Rethinking Islamic Leisure from Market Islam/L' Islam de Marche: Development of Moral Communication in the Neoliberal Piety	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies	6. 最初と最後の頁 18-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/269324	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kei Takahashi	4. 巻 56
2. 論文標題 Recapturing the Sunni Tradition: "Traditional Islam" and Gender in the United States	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orient: Journal of the Society for Near Eastern Studies in Japan	6. 最初と最後の頁 91-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kei Takahashi	4. 巻 56
2. 論文標題 Gender and Tradition in Contemporary Islam: Introduction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orient: Journal of the Society for Near Eastern Studies in Japan	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 NINOMIYA Ayako	4. 巻 13
2. 論文標題 Tension, Emotion, and Devotion: Master-Disciple Relationships and Consolidation of a Tariqa in Medieval India	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 6-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/250319	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中西 竜也	4. 巻 94
2. 論文標題 19世紀雲南の中国ムスリム学者、馬徳新の聖者崇拜批判	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東方学報 - 京都	6. 最初と最後の頁 398-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/250685	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 澤井 真	4. 巻 262
2. 論文標題 スーフィズムにおけるイブン・アラビー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史と地理 世界史の研究	6. 最初と最後の頁 49-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 YASUDA Shin	4. 巻 13
2. 論文標題 Divine Materiality of the Vanished sahaba: Religious Commodification of hujr b. 'Adi al-Kindi in Syria	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies	6. 最初と最後の頁 56-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/250323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中西竜也	4. 巻 826
2. 論文標題 明末清初の激動と中国ムスリム	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澤井 真	4. 巻 21
2. 論文標題 男/女の解消：スーフィーの人間観	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジェンダー研究	6. 最初と最後の頁 145-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 TONAGA Yasushi	4. 巻 11
2. 論文標題 Editor's Note to the Special Feature Entitled "Toward the Future of Sufi Studies"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/230443	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 SAWAI Makoto	4. 巻 11
2. 論文標題 Re-experiencing the Myth of Adam: the Primordial Covenant on Junayd 's Idea of Fana ' and Baqa '	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 4-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/230444	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東長靖	4. 巻 55巻1号
2. 論文標題 「ファナー」の観点からスーフイズムを見直す	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋哲学研究	6. 最初と最後の頁 229-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤堀雅幸	4. 巻 10
2. 論文標題 イスラミック・ツーリズムの勃興 宗教の観光資源化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 306-308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/225213	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中西竜也	4. 巻 86
2. 論文標題 馬徳新とイブン・アラビーの来世論 19世紀中国ムスリムの思想変相	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西南アジア研究	6. 最初と最後の頁 55-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/seinan-asia-kenkyu_86_55	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 澤井 真	4. 巻 12
2. 論文標題 「タジャッリー」概念とその存在一性論的展開	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東北宗教学	6. 最初と最後の頁 23-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計120件（うち招待講演 33件 / うち国際学会 54件）

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Asian Perspective of Sufism: From al-Mashriq al-Aqsa to al-Mashriq al-Adna
3. 学会等名 International Intensive Summer School of Sufi Studies, Institute for Sufi Studies at Uskudar University, Turkey (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 インドネシア・スーフィズムの挑戦 共生社会を目指して
3. 学会等名 第3回イスラーム世界の共生に関する研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 愛と共生のイスラーム
3. 学会等名 日本中東学会第26回公開講演会「人類共生と宗教」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 スーフィズムの3次元説
3. 学会等名 科学研究費・基盤研究(A)(一般)「イスラーム神秘主義の構造的理解 - スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」スーフィズム班研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Three-dimension Theory of Sufism and Toshihiko Izutsu 's Understanding of Sufism
3. 学会等名 The 3rd International Intensive Summer School of Sufi Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 スーフィズムとは何か：神秘主義・道徳・民間信仰
3. 学会等名 Sophia Open Research Week 2021「今日のスーフィズム 神秘主義の諸相を知る」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 スーフィズム理解の模索と展望
3. 学会等名 「イスラーム神秘主義の構造的理解 - スーフィズム・タリカ・聖者信仰複合現象の解明」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Islamic Mysticism Reconsidered
3. 学会等名 2022 AFOMEDI Hybrid Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 赤堀雅幸
2. 発表標題 スーフィズム・聖者信仰複合論再考
3. 学会等名 科学研究費補助金（基盤研究（A））「イスラーム神秘主義の構造的な理解：スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」[JSPS科学研究費JP16H01904] 研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 NINOMIYA Ayako
2. 発表標題 Discussing Sayyids in the Indian Regional Context: Shihab al-Din al-Dawlatabadi 's (d. 1445) Manaqib al-sadat
3. 学会等名 ASPS Virtual Event Series II: Two-Panel Event (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 二宮文子
2. 発表標題 15世紀北インドにおける呪詛をめぐる議論 ダウラターバーディー作『サイドたちの美德』より
3. 学会等名 東文研シンポジウム「ムハンマドの血筋とムスリム」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中西竜也
2. 発表標題 「中国的」イスラームの形成と「異端」
3. 学会等名 洛北史学会大会（第22回）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西竜也
2. 発表標題 中国ムスリムによる親中国的なイスラーム洗練を再考する
3. 学会等名 「イスラーム信頼学」キックオフ・シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tatsuya Nakanishi
2. 発表標題 Ma Dexin's Criticism of Saint Veneration: "Chinese"-flavored Islam formed by a denominational conflict
3. 学会等名 Inscribing Knowledge and Power in Islamic Societies: A Diachronic Study: A Joint Exeter-Tokyo Seminar (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tatsuya Nakanishi
2. 発表標題 Paraphrases and Translations of Muslim Sainthood by Varied Languages in Northwest Revolutionary China
3. 学会等名 RedGold Kick-Off Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tatsuya Nakanishi
2. 発表標題 Chinese-Speaking Muslims' Responses to Islamic Intellectual Trends from West, South and Central Asia during the Nineteenth Century
3. 学会等名 Harvard-Yenching Institute Visiting Scholars Talk (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 タリーカ概念の問題点とタリーカ研究の見通し
3. 学会等名 スーフィー・聖者研究会（「イスラーム神秘主義の構造的理解」研究会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 私市 正年
2. 発表標題 イスラームの政治原理と経済原理：イスラーム諸国の類型的理解
3. 学会等名 講座「上智大学・プロフェッショナル・スタディーズ」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 私市 正年
2. 発表標題 現代中東・イスラーム諸国の政治と宗教 歴史的視点から現代を理解する
3. 学会等名 講座「上智大学・プロフェッショナル・スタディーズ」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イスラームの神秘主義研究における人間探究
3. 学会等名 科学研究費「イスラーム神秘主義の構造的理解」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 井筒俊彦の思想形成期における「東洋」概念
3. 学会等名 科学研究費「井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座」研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イブン・アラビーの存在流出論における現代的展開
3. 学会等名 ギリシア・アラビア・ラテン哲学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イスラーム神秘主義の近代 ムハンマド・アブドゥッフの改革思想
3. 学会等名 印度学宗教学会第62回学术学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 井筒俊彦とイスラーム研究 東洋哲学前夜の思想を探る
3. 学会等名 日本学術振興会カイロ研究連絡センター懇話会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 井筒俊彦と東洋 イブン・アラビー思想との出会い
3. 学会等名 日本宗教学会第80回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 井筒俊彦の描いた「東洋」 イスラーム研究との関わりから
3. 学会等名 国立民族学博物館みんなく特別研究（オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuda, Shin
2. 発表標題 'Symbolic Recovery' in the Process of Aleppo's Cultural Heritage Reconstruction
3. 学会等名 The 10th International Conference of Museums for Peace (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yasuda, Shin
2. 発表標題 Rethinking Islamic Tourism from Market Islam / L' Islam de Marche
3. 学会等名 FFJ-CNRS webinair series: Understanding Religious Dynamics in Economy: a French-Japanese perspective on Islamic Economy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安田 慎
2. 発表標題 脱領域化 / 再領域化する中東・イスラーム都市：湾岸諸国における旧市街の観光開発を事例に
3. 学会等名 国立民族学博物館 共同研究「グローバル化時代における『観光化 / 脱-観光化』のダイナミズムに関する研究：観光を再考する、観光の人類学を再構想する」研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuda, Shin
2. 発表標題 Rethinking Leisure in Muslim Societies: Forming a New Islamic Moral Sphere in the Post-Capitalist Era
3. 学会等名 Joint International Islamic Economic Symposium New Frontiers of Social Welfare and Market Systems in the Post-Capitalist Era: Islamic Economic Perspective（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuda, Shin
2. 発表標題 Mapping Pilgrimage in the Marketplace: Social Contexts of Ustaz in Indonesian Bisnis Hajj dan Umroh
3. 学会等名 12th International Religious Tourism and Pilgrimage Conference（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋 圭
2. 発表標題 スーフィズムから見るアメリカのイスラーム
3. 学会等名 滞日ムスリムと多文化共生研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Taking-off Shoes (Khal ' al-Na ' layn): According to Abdullah Bosnevi
3. 学会等名 The Sacred Patrimony of Sufism: Architecture, Objects and Symbols from the Maghreb to Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Japanese Studies on Sufism
3. 学会等名 Special Lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Keynote Speech: Wisdom of Coexistence according to Sufism
3. 学会等名 Wisdom of Coexistence in the Islamic Thought: Graduate Seminar on Sufism (Kyoto University-Syarif Hidayatullah State Islamic University Jakarta Joint Seminar) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 赤堀 雅幸
2. 発表標題 イスラーム聖者崇敬研究の目配り処と見通し
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakanishi Tatsuya
2. 発表標題 A Chinese Muslim Scholar's Criticism against Saint Veneration
3. 学会等名 All-Japan-Exeter Joint Workshop / Tobunken Symposium Knowledge as Power: Production, Control, and Manipulation of Knowledge in Muslim Societies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nakanishi Tatsuya
2. 発表標題 How did Chinese Muslims harmonize Ibn 'Arabi 's Ideas with Chinese Traditional Thoughts?
3. 学会等名 Histoire du taoisme et des religions chinoises (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nakanishi Tatsuya
2. 発表標題 Chinese Muslims ' Discourses about the Sufi Saint
3. 学会等名 Le culte des saints en Chine (islam et taoisme) : approches historique et anthropologique (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 私市 正年
2. 発表標題 The Zawiya as an Asylum in Premodern Maghreb-A Reconsideration of the Public Sphere within an Islamic Society
3. 学会等名 International Seminar on "Public Space, Public Sphere and Publicness in the Middle East" (IFA0)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Sufi Studies in Gender Equality: Re-reading Ibn 'Arabi 's Anthropological Thought
3. 学会等名 The Annual Conference of the British Association for Islamic Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イブン・アラビー学派における完全人間論の展開
3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イスラーム神秘主義における人間の位置
3. 学会等名 印度学宗教学会第61回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 ジーリーの存在の自己顕現論におけるムハンマドとアダム
3. 学会等名 日本宗教学会第78回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 井筒俊彦とイスラーム神秘主義
3. 学会等名 国際研究フォーラム井筒「東洋哲学」と宗教研究（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Tasawwuf and modernity: On the relevance of Ibn 'Arabi
3. 学会等名 Reading session: "Tasawwuf and modernity: On the relevance of Ibn 'Arabi."（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 TAKAHASHI Kei
2. 発表標題 Creating a Muslim Space in Postsecular Settings
3. 学会等名 Engaging the Contemporary 2019: The Philosophical Turn Towards Religion, University of Malta, Valetta, Malta（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋 圭
2. 発表標題 アメリカにおけるスーフィー系コミュニティ運動の展開
3. 学会等名 日本宗教学会第78回学術大会（帝京科学大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 Theoretical Basis for the Visit to the Saints' Places in the Islamic Thought
3. 学会等名 5th World Congress of Middle Eastern Studies (WOCMES)2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 The Choice of Languages in the Ottoman Sufism
3. 学会等名 The 2nd International Conference of The Asian Federation of Mediterranean Studies Institutes(AFOMEDI) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 イスラームのとらえ方 - 穏健イスラームにみる共生
3. 学会等名 2018年度 立命館西園寺塾 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 NINOMIYA Ayako
2. 発表標題 Religious Endowments in South Asia under the Colonial Rule: The Case of Dargah Salar Mas`ud
3. 学会等名 International Conference of History and Governance of Awqaf in India and Malaysia: Colonial Interventions and Modern States (ICHGA 2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 NINOMIYA Ayako
2. 発表標題 Tension, Emotion, and Devotion: Master-Disciple Relationships and Consolidation of a Tariqa in Medieval India
3. 学会等名 CNRS-KIAS-SIAS JOINT SEMINAR 2019 “Sufism, Sufi orders and Saints from Africa to Asia: New Researches in Japan and in France” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 NINOMIYA Ayako
2. 発表標題 Analyzing Intellectual Milieu of Ain-i Akbari
3. 学会等名 The Sixth Perso-Indica Conference “The Classification of Indic Knowledge at the Mughal Court: the Ain-i Akbari” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuya Nakanishi
2. 発表標題 Using the Classics for Reform in Early Twentieth-Century Chinese Islam
3. 学会等名 AAS in Asia Conference, 2018 New Delhi - Asia in Motion: Geographies and Genealogies- (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中西竜也
2. 発表標題 明末清初の思潮変遷にたいする中国ムスリムの反応 王岱輿と劉智による人間の多様性をめぐる議論の比較から
3. 学会等名 第63回国際東方学会議 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Maruyama Daisuke
2. 発表標題 The Connotation of Batin and Zahir in the Context of Sufism: A Case Study of Contemporary Sudan
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 概要説明 - タリーカ論構築に向けた覚え書き -
3. 学会等名 スーフィー・聖者研究会 (タリーカ論研究会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 スーダンにおけるタリーカ概念
3. 学会等名 スーフィー・聖者研究会 (タリーカ論研究会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masatoshi Kisaichi
2. 発表標題 Zawiya as an Asylum (Asile) in Pre-modern Maghrib- A Reconsideration of Public Sphere as an Islamic Concept
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masatoshi Kisaichi
2. 発表標題 Studies on Emir Abdelkader in Japan
3. 学会等名 International Symposium-Emir Abdelkader between the two shores, organized by University of Mascara. (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 男/女の解消：スーフィーの人間観
3. 学会等名 日本中東学会第34回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 The Disappearance between Man and Woman: The Sufi View on Human Existence
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イブン・アラビー思想における人間論
3. 学会等名 日本宗教学会第77回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イブン・アラビーの思想におけるアダム 『人間』概念との関わりから
3. 学会等名 イスラーム地域研究若手研究者の会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 悲から出でる喜び イスラームの神秘思想家たちの語りを通して
3. 学会等名 「アジア・アフリカにおける諸宗教の関係の歴史と現状」研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 近現代における「教団」としてのタリーカ 民衆性・社会性に注目しながら
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会（タリーカ論研究会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 アメリカのスーフィズム その歴史と現状
3. 学会等名 イスラーム・セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 アメリカのイスラームと神秘主義
3. 学会等名 龍谷大学国際社会文化研究所指定研究研究会「異文化理解と多文化共生 神秘主義思想とその実践を通じたイスラームとキリスト教の共生を求めて」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安田 慎
2. 発表標題 「ウスターズ」たちの宗教市場：インドネシアにおける、イスラーム旅行会社とスピリチュアル・マーケット試論
3. 学会等名 宗教とツーリズム研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Remembrance of Holy Places: Religious Capital and Syrian Shi'ite Religious Sites in the Era of Crisis
3. 学会等名 5th World Congress for Middle Eastern Studies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Making Pilgrimage in the Marketplace: Reviewing Bisnis Hajj dan Umroh in Indonesia
3. 学会等名 International Conference on Future of the Past: Tourism and Cultural Heritage in Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安田 慎
2. 発表標題 信仰とレジャーの狭間で イスラームにおける参詣から社会的心性をまなざす
3. 学会等名 愛媛大学 四国遍路・世界の巡礼研究センター 公開シンポジウム・研究集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Three-Axis Framework of Sufism: Toward the Interdisciplinary Approach
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies"（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 General Trend of Islamic and Sufi Studies in Japan
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies"（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 TONAGA Yasushi
2. 発表標題 Potentiality of Sufism in the Contemporary Period
3. 学会等名 2017 KAMES International Conference, "Seeking Harmony and Prosperity for the Middle East in the Era of Uncertainty"（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 スーフィズムの三極構造再考
3. 学会等名 科研：基盤A「イスラーム神秘主義の構造的な理解 - スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 東長 靖
2. 発表標題 近現代スーフィズムの4象限説
3. 学会等名 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題 「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2) ジャワのイスラーム化再考」2017年度第3回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 AKAHORI Masayuki
2. 発表標題 "Past, Present, and Future of Our Studies on Sufism and Saint Veneration,"
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 赤堀 雅幸
2. 発表標題 グローバル化するイスラーム
3. 学会等名 千葉県立木更津高等学校平成29年度グローバル人材プロジェクト講演会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 NINOMIYA Ayako
2 . 発表標題 Concepts of affiliation and membership of Tariqa: Medieval India ' s case.
3 . 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “ Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies ” (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 NINOMIYA Ayako
2 . 発表標題 Qadam-i Sharif, Mecca and Delhi: Story of a Sufi and Footprints of the Prophet Muhammad in Medieval India
3 . 学会等名 CNRS-KIAS/SIAS Joint Seminar “ Holy Relics and Religious Commodities in Islam ” (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 NAKANISHI Tatsuya
2 . 発表標題 Ma Dexin and Ibn ‘ Arabi ’ s Theories Regarding the Afterlife: A Chinese Expression of Sufism during the 19th Century
3 . 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “ Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies ” (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 MARUYAMA Daisuke
2 . 発表標題 Mystic, Miracle, and Mediation: The Interpretation of the Relationshipbetween Allah and People in Contemporary Sudanese Sufi Tariqas
3 . 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “ Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies ” (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 KISAICHI Masatoshi
2. 発表標題 Le journal "al-Ruh" et les jeunes de Zawiya al-Hamil-La reconsidération du mouvement nationaliste algérien
3. 学会等名 Universite de Mascara, Algerie (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Beyond Commentary: Dawud Qaysari's Spiritual Authority.
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 生と死から見たイスラーム神秘思想
3. 学会等名 印度学宗教学会第59回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Islamic and Arab Spirit with Western Learning: How were Sufis treated in Modernity?
3. 学会等名 International Workshop: Producing Traditions, Knowledge and Identities: Muslim Intellectuals in the Contemporary World (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 近代イスラームにおける「神秘主義」言説
3. 学会等名 日本宗教学会第76回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Spiritual Caliphate in Dawud Qaysari 's Commentaries
3. 学会等名 German Oriental Studies Conference (33 Deutscher Orientalistentag) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イブン・アラビー学派初期における靈的カリフ(権威)論の展開について
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 イスラームの近代化と改革思想 ムハンマド・アブドゥッフのスーフィー観を中心に
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 マーク・セジウィックによるスーフィズムの分析枠組みとしての“五極構造”についての情報提供
3. 学会等名 科研：基盤A「イスラーム神秘主義の構造的な理解 - スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 SAWAI Makoto
2. 発表標題 Life and Death as metaphor in the Divine Unity
3. 学会等名 1st International Sufi Studies Graduate Student Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋 圭
2. 発表標題 LGTBQI、女性、スーフィー アメリカのリベラルとムスリム・コミュニティ
3. 学会等名 東文研セミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 TAKAHASHI Kei
2. 発表標題 The Institutional Origin of the Ulama-Sufi Dichotomy in Modern Egypt
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋 圭
2. 発表標題 現代アメリカのスーフィズムとムスリム・コミュニティ 「伝統イスラーム運動」の隆盛とその背景
3. 学会等名 2017年年度スーフィズム・聖者信仰研究会合宿
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 TAKAHASHI Kei
2. 発表標題 Connecting Sufism to the American Muslim Community: “Traditional Islam” and the Creation of Muslim Third Places
3. 学会等名 Sufism and Zen in the Modern Western World: Spiritual Marriage of East and West or Western Cultural Hegemony? (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 TAKAHASHI Kei
2. 発表標題 Sufism without Tariqa: The Emergence of Muslim Third Places in the Contemporary American Muslim Community
3. 学会等名 CNRS-KIAS/SIAS Joint Seminar “Holy Relics and Religious Commodities in Islam” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Islamic Hospitality in Adab Literature: Searching for Depth of Religious Duty, Piety, and Righteousness in Diyafa Practices
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安田 慎
2. 発表標題 イスラミック・ホスピタリティ論再考 アラブ文献におけるディヤーフア・サファルをめぐって
3. 学会等名 日本中東学会第33回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Rethinking Islamic Hospitality: Managing Hosts and Guests in Diyafa Tradition
3. 学会等名 9th International Religious Tourism and Pilgrimage Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Making Islamic Sense of Hospitality: Embedding Religious Piety and Righteousness in Tourism Industry
3. 学会等名 International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 YASUDA Shin
2. 発表標題 Commodifying Religious Experiences: Islamic Tour Operators and the Pilgrimage Business Market in Indonesia
3. 学会等名 CNRS-KIAS/SIAS Joint Seminar "Holy Relics and Religious Commodities in Islam" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 「平和・愛・共存を求めるイスラームのもうひとつの顔」
3. 学会等名 京都大学春秋講義「宗教と平和」第3回（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi TONAGA
2. 発表標題 Towards the Asian Network of Sufi Studies: From the Japanese Experience
3. 学会等名 The 11th AFMA (Asian Federation of Middle East Studies Associations) Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 「スーフィズムの三極構造論 - スーフィズムの立場から」
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi TONAGA
2. 発表標題 Past, Present and Future of Sufi Studies in Japan: Three-Axis Framework of Sufism and Interdisciplinary Approach
3. 学会等名 Opening Symposium of the Education Program for Sufi Culture, “The Bridge of Two Easts,” (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 「スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合と東南アジア・イスラーム」
3. 学会等名 「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2)ジャワのイスラーム化再考」研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 AKAHORI Masayuki
2. 発表標題 An Anthropological Understanding of the Three-Axis Framework of Sufism: A Comparison to Shintoism, Japan's Traditional Religion
3. 学会等名 Opening Symposium of the Education Program for Sufi Culture, "The Bridge of Two Easts," (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 赤堀雅幸
2. 発表標題 スーフィズム・聖者崇敬複合とスーフィズム三極複合論の民衆信仰軸
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 スーフィズムにおける媒介 - スーダンのタリーカ(スーフィー教団)とサラフィー主義者との議論を事例として -
3. 学会等名 宗教史学研究所第63回研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 スーフィズムの三極構造論再考 - スーダンの事例から -
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会2016年度第2回研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daisuke Maruyama
2. 発表標題 The Interpretations of Sufism in Sudanese Tariqas: From the Perspective of Three-Axis Framework of Sufism
3. 学会等名 Opening Symposium of the Education Program for Sufi Culture, "The Bridge of Two Easts," (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 丸山 大介
2. 発表標題 現代スーダンにおける聖者崇敬の諸相 問い直される聖者の役割 -
3. 学会等名 シンポジウム「イスラーム世界を生きる聖者たち」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤井 真
2. 発表標題 アジアと聖者たちの近代 イスラーム神秘思想をめぐる学知形成
3. 学会等名 公開研究会・近代アジアにおける聖者の諸相
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto, Sawai
2. 発表標題 Ibn 'Arabi on the Perfect Man as the Spiritual Authority
3. 学会等名 SIAS/KIAS-CNRS International Joint Seminar on Development of Sufism-Saint Cults Comple
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Makoto, Sawai
2. 発表標題 Ontological Emanation in Ibn Arabi ' s School
3. 学会等名 The Asian Federation of Mediterranean Studies Institue International Conference
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安田 慎
2. 発表標題 宗教観光におけるアントレプレナーシップをめぐる一試論 - インド・ムンバイのイスラーム旅行会社 S を事例に
3. 学会等名 日本中東学会第32回年次大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shin Yasuda
2. 発表標題 Remembrance of Holy Places: The Network of Religious Capital and Risk Management in Shi ' ite Religious Places in Syria
3. 学会等名 8th Annual International Religious Tourism and Pilgrimage Conference
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計43件

1. 著者名 東長 靖 (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 こぶし書房	5. 総ページ数 452 (247-262)
3. 書名 公益財団法人日独文化研究所 (編) 『共同研究 共生：そのエトス, パトス, ログス』	

1. 著者名 東長 靖 (編・分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学ケナン・リファーイー・スーフイズム研究センター	5. 総ページ数 xx+165 (i-xx, 1-13)
3. 書名 東長靖、イディリス・ダニシマズ、藤井千晶 (編) 『イスラームの多文化共生の知恵：周縁イスラーム世界のスーフイズムに着目して』	

1. 著者名 東長 靖 (編・分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 xiii+365+5 (i-xiii, 283-292)
3. 書名 西尾哲夫・東長靖 (編) 『中東・イスラームへの30の扉』	

1. 著者名 TONAGA Yasushi (編・分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Kyoto: Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 x+207 (iv, 19-26)
3. 書名 TONAGA Yasushi & FUJII Chiaki (eds.), Debate, Dialogue and Diversity in Sufism	

1. 著者名 赤堀雅幸 (編・分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 112 (1-36, 53-76)
3. 書名 赤堀雅幸 (編) 『イスラームおよびキリスト教における崇敬の人類学：一神教の聖者たち、聖人たち』	

1. 著者名 赤堀雅幸 (監訳・分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 88 (1-38, 79-80)
3. 書名 タラル・アサド (著)、赤堀雅幸 (監訳)、近藤文哉 (訳注解) 『イスラームの人類学について考える / An Idea of Anthropology of Islam』	

1. 著者名 二宮文子 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学ケナン・リファーマー・スーフィズム研究センター	5. 総ページ数 xx+165 (63-75)
3. 書名 東長靖、イディリス・ダニシマズ、藤井千晶 (編) 『イスラームの多文化共生の知恵：周辺イスラーム世界のスーフィズムに注目して』	

1. 著者名 二宮文子 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 viii+362 (104-105)
3. 書名 石川博樹 [ほか] 編著 『論点・東洋史学：アジア・アフリカへの問い158』	

1. 著者名 中西竜也 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学ケナン・リファーイー・スーフィズム研究センター	5. 総ページ数 xx+165 (29-48)
3. 書名 東長靖、イディリス・ダニシマズ、藤井千晶 (編) 『イスラームの多文化共生の知恵：周縁イスラーム世界のスーフィズムに着目して』	

1. 著者名 MARUYAMA Daisuke (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 x+207 (157-170)
3. 書名 Y. Tonaga and C. Fujii (eds.) Debate, Dialogue and Diversity in Sufism, Kenan Rifai Center for Sufi Studies	

1. 著者名 私市正年 (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 清水書院	5. 総ページ数 369 (288-303)
3. 書名 鈴木董 (編) 『侠の歴史：士は己を知る者のために死す、「侠」に生きた勇者たち 西洋編上 + 中東編』	

1. 著者名 KISAICHI Masatoshi (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 The Zawiya as an Asylum(Asile) in Premodern Maghrib: A Reconsideration of Public Sphere as Islamic Practices	5. 総ページ数 xiv+202 (69-88)
3. 書名 Agnes Deboulet & Iwasaki Erina (eds.), Public Space, Public Sphere, and Publicness in the Middle East-Proceedings of the International Seminar held in Cairo, Egypt on March 8 & 9, 2020.	

1. 著者名 KISAICHI Masatoshi (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 x+207 (157-170)
3. 書名 Y. Tonaga and C. Fujii (eds.) Debate, Dialogue and Diversity in Sufism, Kenan Rifai Center for Sufi Studies	

1. 著者名 Makoto Sawai (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Uskiudar Universitesi Yayinlari	5. 総ページ数 348 (227-231)
3. 書名 I. Uluslararası Tasavvuf Arastirmalari Lisansustu Ogrenci Sempozyumu Bildiri Kitabi	

1. 著者名 澤井真 (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826 (172-173)
3. 書名 鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸 (編集代表) 『中東・オリエント文化事典』	

1. 著者名 澤井真	4. 発行年 2020年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 242+33
3. 書名 『イスラームのアダム：人間をめぐるイスラーム神秘主義の源流』	

1. 著者名 SAWAI Makoto (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Kyoto: Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 x+207 (43-55)
3. 書名 Y. Tonaga and C. Fujii (eds.) Debate, Dialogue and Diversity in Sufism	

1. 著者名 安田慎 (編・分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 248
3. 書名 千葉悠志・安田慎 (編) 『現代中東における宗教・メディア・ネットワーク：イスラームのゆくえ』	

1. 著者名 Yasuda, Shin (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 AJI Editorial Office, OIC Research Office, Ritsumeikan University Osaka Ibaraki Campus (OIC)	5. 総ページ数 72 (55-61)
3. 書名 Khashan, A. & Kuroda, A. (eds.) Asia and Japan Today (1): Researchers' Essays at the Arrival of a New COVID Era	

1. 著者名 安田慎 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北樹出版	5. 総ページ数 152 (127-133)
3. 書名 松井広志・岡本健 (編) 『ソーシャルメディア・スタディーズ』	

1. 著者名 安田慎 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 xiii+365+5 (179-188)
3. 書名 西尾哲夫・東長靖 (編) 『中東・イスラーム世界への30の扉』	

1. 著者名 安田慎 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 244 (82-83)
3. 書名 須藤廣・遠藤英樹・高岡文章・松本健太郎 (編) 『よくわかる観光コミュニケーション論』	

1. 著者名 安田慎 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 112 (95-105)
3. 書名 赤堀雅幸 (編) 『イスラームおよびキリスト教における崇敬の人類学：一神教の聖者たち、聖人たち』	

1. 著者名 高橋圭 (分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 iv+88 (29-48)
3. 書名 赤堀雅幸 (編) 『ディアスポラのムスリムたち：異郷に生きて交わること』	

1. 著者名 高橋圭 (分担執筆)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826 (174)
3. 書名 鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸 (編集代表) 『中東・オリエント文化事典』	

1. 著者名 Tonaga Yasushi, Fujii Chiaki	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Kyoto Kenan Rifai Center for Sufi Studies	5. 総ページ数 xiii+375
3. 書名 Islamic and Sufi Studies in Academia: Rethinking Methodologies (Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 3)	

1. 著者名 安田慎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ぎょうせい	5. 総ページ数 ix+358 (198-215)
3. 書名 上智大学文学部史学科 (編) 歴史家の調弦	

1. 著者名 YASUDA Shin	4. 発行年 2019年
2. 出版社 CAB International	5. 総ページ数 208 (51-58)
3. 書名 Ruth Dowson, Jabar Yaqub, Razaq Raj (eds.), Spiritual and Religious Tourism: Motivations and Management	

1. 著者名 丸山大介、渡辺和子、高井啓介、小堀馨子、上村静、細田あや子、志田雅弘、虫賀幹華、津曲真一、鈴木健郎、長谷部八朗（部分担当）、高井啓介、杉木恒彦（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 リトン	5. 総ページ数 376 (7-32)
3. 書名 霊と交流する人びと - 媒介者の宗教史 - 下巻	

1. 著者名 高橋圭（編、部分担当）、狩野希望、池田昭光、海野典子（部分担当）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 61 (1-19)
3. 書名 アジア・アフリカにおける諸宗教の関係の歴史と現状（2）	

1. 著者名 Abdus Sattar Abbasi, Achanzar-Labor, Dharma Adhikari, Saad Aslam, Shin Yasuda, Juyan Zhang, Lingyun Zhang	4. 発行年 2018年
2. 出版社 CAB International	5. 総ページ数 186頁 (1-9, 21-29)
3. 書名 Religious Tourism in Asia: Tradition and Change through Case Studies and Narratives	

1. 著者名 Abdus Sattar Abbasi, Mustafa Acar, Sorur Adwik, Shin Yasuda, Mustafa Yilmaz	4. 発行年 2018年
2. 出版社 CAB International	5. 総ページ数 272頁 (201-213)
3. 書名 Islamic Tourism: Management of Travel Destinations	

1. 著者名 TONAGA Yasushi (分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 DOAB	5. 総ページ数 viii+242 (69-84)
3. 書名 Angela HOBART and Thierry ZARCONI (eds.), Pilgrimage and Ambiguity Sharing the Sacred	

1. 著者名 TONAGA Yasushi (編著) Osman Nuri Kucuk, Ahmet Murat Ozel, AKAHORI Masayuki, SAWAI Makoto, INOUE Kie, YAMAMOTO Naoki, Quentin Giroud, Ayse Akyurek	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 112 (iv-vi, 41-46)
3. 書名 The Bridge of Cultures : Potentiality of Sufism	

1. 著者名 AKAHORI Masayuki (分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 112 (31-40)
3. 書名 Tonaga Yasushi (ed.), The Bridge of Cultures : Potentiality of Sufism	

1. 著者名 Masatoshi Kisaichi & Med Foued Kacimi (eds.)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Dar al-Khalil	5. 総ページ数 256+52
3. 書名 Al-Ruh - Journal des jeunes Kacimi	

1. 著者名 私市正年 (分担執筆)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 240 (76-91)
3. 書名 高岡豊、白石望、溝淵正季 (編著) 中東・イスラーム世界の歴史・宗教・政治 多様なアプローチが織りなす地域研究の現在	

1. 著者名 SAWAI Makoto (分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University	5. 総ページ数 112 (49-60)
3. 書名 Tonaga Yasushi (ed.), The Bridge of Cultures : Potentiality of Sufism	

1. 著者名 高橋圭、岩坂将充、金谷美紗、私市正年、関佳奈子、登利谷正人、中村遥、野口舞子、堀場明子、三代川寛子、渡邊祥子 (部分担当)、高岡豊、白石望、溝淵正季 (編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 240
3. 書名 中東・イスラーム世界の歴史・宗教・政治 多様なアプローチが織りなす地域研究の現在	

1. 著者名 TONAGA Yasushi	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies	5. 総ページ数 xxvi+126 (77-80)
3. 書名 Bibliography of Sufism, Tariqa, and Saint Cult Studies in Japan (『日本におけるスーフィズム・タリーカ・聖者信仰研究文献目録』)	

1. 著者名 Yasushi TONAGA	4. 発行年 2016年
2. 出版社 The Islamic Research Academy	5. 総ページ数 vi + 174 + 394
3. 書名 History, Literature and Scholarly Perspectives South and West Asian Context: Festschrift presented in honor of Moinuddin Aqeel	

1. 著者名 NINOMIYA Ayako	4. 発行年 2016年
2. 出版社 The Islamic Research Academy	5. 総ページ数 Vi + 174 + 394 (119-126)
3. 書名 History, Literature and Scholarly Perspectives South and West Asian Context: Festschrift presented in honor of Moinuddin Aqeel, Karachi: Islamic Research Academy Karachi	

1. 著者名 Masatoshi KISAICHI, Foued KACIMI	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Dar al-Khalil	5. 総ページ数 247 +40
3. 書名 Al-Ruh Journal des jeunes Kacimi 1367/1948	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	赤堀 雅幸 (AKAHORI Masayuki) (20270530)	上智大学・総合グローバル学部・教授 (32621)	
研究分担者	二宮 文子 (NINOMIYA Ayako) (40571550)	青山学院大学・文学部・准教授 (32601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中西 竜也 (NAKANISHI Tatsuya) (40636784)	京都大学・人文科学研究所・准教授 (14301)	
研究分担者	丸山 大介 (MARUYAMA Daisuke) (60749026)	防衛大学校（総合教育学群、人文社会科学群、応用科学群、電気情報学群及びシステム工学群）・人文社会科学群・准教授 (82723)	
研究分担者	私市 正年 (KISAICHI Masatoshi) (80177807)	上智大学・総合グローバル学部・教授 (32621)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 Sufism, Sufi Orders and Saints from the Middle East to Asia	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies”	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 CNRS-KIAS/SIAS Joint Seminar “Holy Relics and Religious Commodities in Islam”	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関